

事業名	視覚障害者援護費			調書番号	24
細事業名	盲人ホーム運営費補助金	財務コード	080702		
担当部課室	福祉保健 部 障害福祉 課 施設支援 担当 (内線)	3211			

事業の概要					
実施期間	始期 S33 年度 ~ 終期 年度				
実施主体	補助((福)山梨ライトハウス)				
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして			結果、何に結びつけるのか
	視覚障害者	あん摩等の技術指導、生活訓練、社会適応訓練などを通じて、自立に必要な能力が身についている。			視覚障害者の自立
内容	山梨ライトハウスが運営する盲人ホームに要する経費への補助 ・補助先:(福)山梨ライトハウス ・補助率:10/10 ・補助対象事業:盲人ホームに対象者を通所させ(現在は通所者:5名)、あん摩等の技術指導や日常生活訓練、社会適応訓練等を通じて、一般の人へあん摩等を施術することにより自立支援を行う。 利用条件:あん摩師、はり師、きゅう師免許を有する視覚障害をもつ未婚の女性で、自営又は雇用されることが困難な者 所有地:甲府市塩部1-6-20(施術料金:3,000円)				

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)								
区分	指標	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
活動指標	延べ生活訓練回数/入所者	目標	288	288	288	288	288	288
		実績(見込)	259	253	223	272	217	288
		達成率	89.9%	87.8%	77.4%	94.4%	75.3%	100%
		達成区分	b	b	c	b	c	b
成果指標	年間受療者数/入所者	目標	80	80	80	80	80	80
		実績(見込)	75	74	63	80	67	80
		達成率	93.8%	92.5%	78.8%	100.0%	83.8%	100.0%
		達成区分	b	b	c	b	b	b
決算(予算) 単位:千円		6,511	6,511	6,511	6,511	5,539	5,539	5,539

事業の評価(平成28年度の業績評価)		
活動指標	c	評価 通所者1人当たり年間受療者数67人への理療を通じて、職業的自立を支援しており、意図した成果はほぼ上げている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)	
県関与の必要性	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明 <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明
有効性(成果向上)	判定 <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明
見直しの余地	判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明 <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
	説明
その他	説明
見直しの必要性	有 2回の概算払を1回にし、事務処理量の削減を図る必要がある。

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)	
実施方法等の変更	説明 2回の概算払を1回にし、事務処理量の削減を図る。

見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。